



塚田 好宣
Yoshinobu Tsukada

11月2日～3日に開催された国内シニアツアー「コスモヘルスカップ シニアトーナメント 2023」にて、PING 契約選手 塚田好宣選手が10月の「トラストグループカップ 佐世保シニアオープンゴルフトーナメント」に続き、今季2勝目を飾りました。塚田選手は、G430 LSTドライバー（9度）のブレない飛びと、優れた操作性とスピン性能のGLIDE FORGED PRO、ボールの転がりに拘ったPLD カスタムパターでバーディーを量産し、通算10アンダーで逆転優勝を飾りました。

「地元 千葉県開催での初めての優勝、そしてホームコースでの優勝は本当に嬉しいです。4打差を追いかける立場でしたが、チャンスはあると信じてプレーをしました。今シーズンも残り2戦ですが、もしかしたらもう一勝のチャンスがあるかもしれない。そう思える自信があります。最後まで諦めず頑張ります。応援宜しくお願いします。」
(塚田選手)

塚田 好宣 選手 クラブセッティング

ドライバー	G430 LST(9度)
FW	G425 LST(#3)、G425 MAX(#5)
ハイブリッド	i crossover(#3)
アイアン	PING プロトタイプ(#4-#9、PW)
ウェッジ	GLIDE FORGED PRO(52度S、59度S)
パター	PLD PRYME TYNE C(カスタム)



PING 歴16年！塚田選手がPINGクラブを選ぶ理由

PINGの目指す「FORGIVENESS」が1番の理由です。クラブで言うと、寛容性（やさしさ）です。厳しいプロの試合の中で、助けられることが本当にたくさんあり、1発の飛距離より何より、ミスショットを減らせる寛容性は大事です。

今季2勝目を挙げた塚田選手にインタビュー！このクラブの「ここが良かった」



G430
LSTドライバー

“曲がらない”安心感が振ることに集中させてくれる！

「今大会のコースは、飛距離が出る出ないで攻め方が大きく変わるコースで、高い弾道で飛ばすことを目指しました。人よりも短い番手でグリーンを狙えたことが勝因になったと思います。G430 LSTの“曲がらない”という安心感が、思い切り振ることに集中できました。」(塚田選手)

GLIDE FORGED PROのスピン性能で乗り切ったピンチ！

「今大会コースのグリーンは、いくつもの面が複雑に存在する難グリーンで、ピンのある面にボールを止めないとチャンスがありません。最終日の2番では38ヤードのロブショットをピンそば30cmに着けることができバーディをとることができました。17番では、奥の下り傾斜からスピンの効いたチップショットでパーセーブができました。GLIDE FORGED PROのスピン性能に助けられました。」(塚田選手)



GLIDE FORGED PRO
52度S、59度S



塚田選手の拘りを詰め込んだ PLD カスタムパター

「芯で打ちやすい」とセンターシャフトが好みの塚田選手がPLDカスタムでTYNE Cを作製。カスタマイズする際に特に拘ったのがフェース。スイートスポットを外してもボールの初速が変わらない特徴がある「TR溝」を採用。「パッティングした際のボールのスピードが今回のカレドニアングCの高速グリーンにすごく合っていました。」(塚田選手)

塚田選手のように「PLD カスタムパター」で世界に1本の拘りパターを作ろう

アメリカ・アリゾナ州のPING本社内にあるパター専門の研究開発室「PLD (PUTTING LAB DESIGN)」から誕生したパター「PLD シリーズ」。パターフィッティングでストロークやテンポなどを計測し、ご自身のストロークタイプに合ったヘッド形状、重量、ライ角、シャフトの長さ、好みのボールの転がりに応じた溝、アライメント、カラーリングなど、自由にカスタマイズできる「PLDカスタムパター」で拘りのパターを作ろう！詳細はQRコードをチェック。

